

### フラットルーフの仕様拡大

(目的) 「ティオ」および「トレオ」の無落雪屋根として北海道地区を中心に実績の多いフラットルーフの仕様について、断熱パネル形式のフラットルーフの標準化を目指す。

フラットルーフは従来からの無落雪・高断熱のメリットに加え、二重折板の音鳴り対策として需要が高くなってきている。その需要を取り込むべく、フラットルーフの仕様拡大を計る。

断熱パネル形式のフラットルーフは、屋根断熱仕様のラインナップの中では上位の仕様と位置づけ、断熱パネルのパネル厚により高断熱仕様も可能とする。

(特徴) 断熱パネルの表面は露出用の塩ビ鋼板とし、パネル目地に防水シートを溶着し、シート防水を省略することが可能。

また、断熱パネルは母屋へ直接固定できる為、従来仕様に比べ耐風性能が向上している。さらに、「ティオ」の軽量H形鋼母屋を従来通りの配置で使用でき、鉄骨製作のメリットを維持。

断熱パネル仕様のフラットルーフは、屋根耐火30分の認定取得済みである。

(効果) 断熱性能は、パネル厚35mmで熱還流率は $0.5 \text{ m}^2 \cdot \text{K}/\text{W}$ 。高断熱仕様として、パネル厚45mm、厚60mmもオプション対応が可能である。

(採用目標) 2019年1月からの販売を予定しており、年間20棟の採用を目指す。



フラットルーフの試作試験状況

<以上>